

都市構造可視化

～災害リスク可視化検討～



徳島県 美波町 総務課デジタル自治推進室

1.災害リスク検討

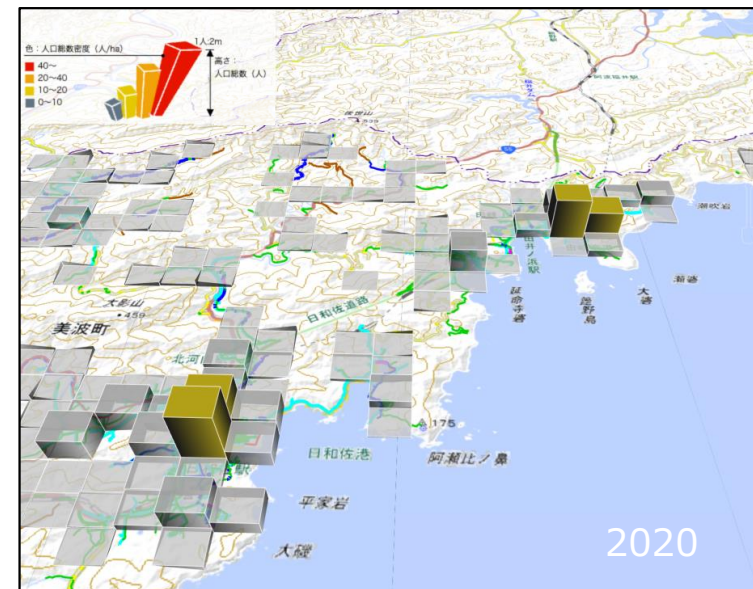
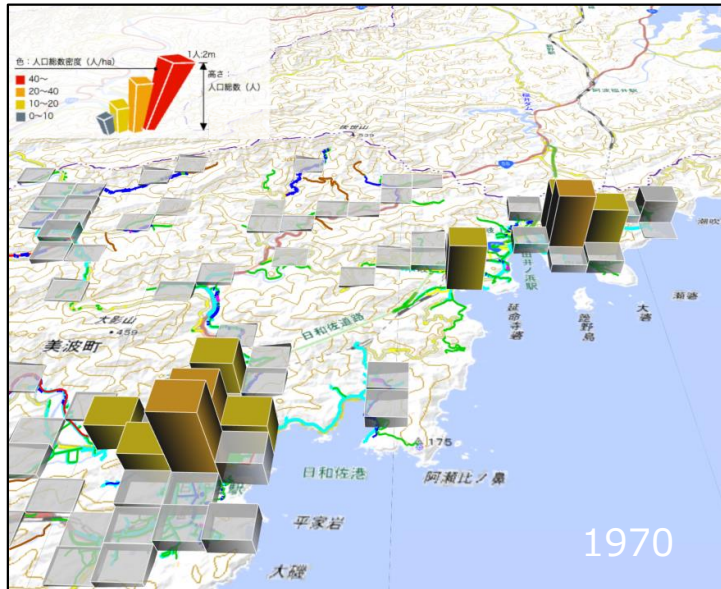
- ・ 令和7年度 3D都市モデルを整備予定のため、i-都市再生実務研修に参加
(都市空間情報デジタル基盤構築支援事業要望予定)
- ・ 経年変化人口分布データと保有データを組み合わせる
災害リスクの可視化を次年度に向けて検討したい！

補注：Google マップを使用

実際にデータから作成も実施したが、既に存在するデータがある場合は組み合わせに注力するほうが有用なので、組み合わせ例を検討

2.社会資本と人口構造の位置関係を可視化

社会資本整備・管理運用に関する検討



主なレイヤ

- ・道路
- ・橋梁
- ・道路構造物
- ・上下水管路

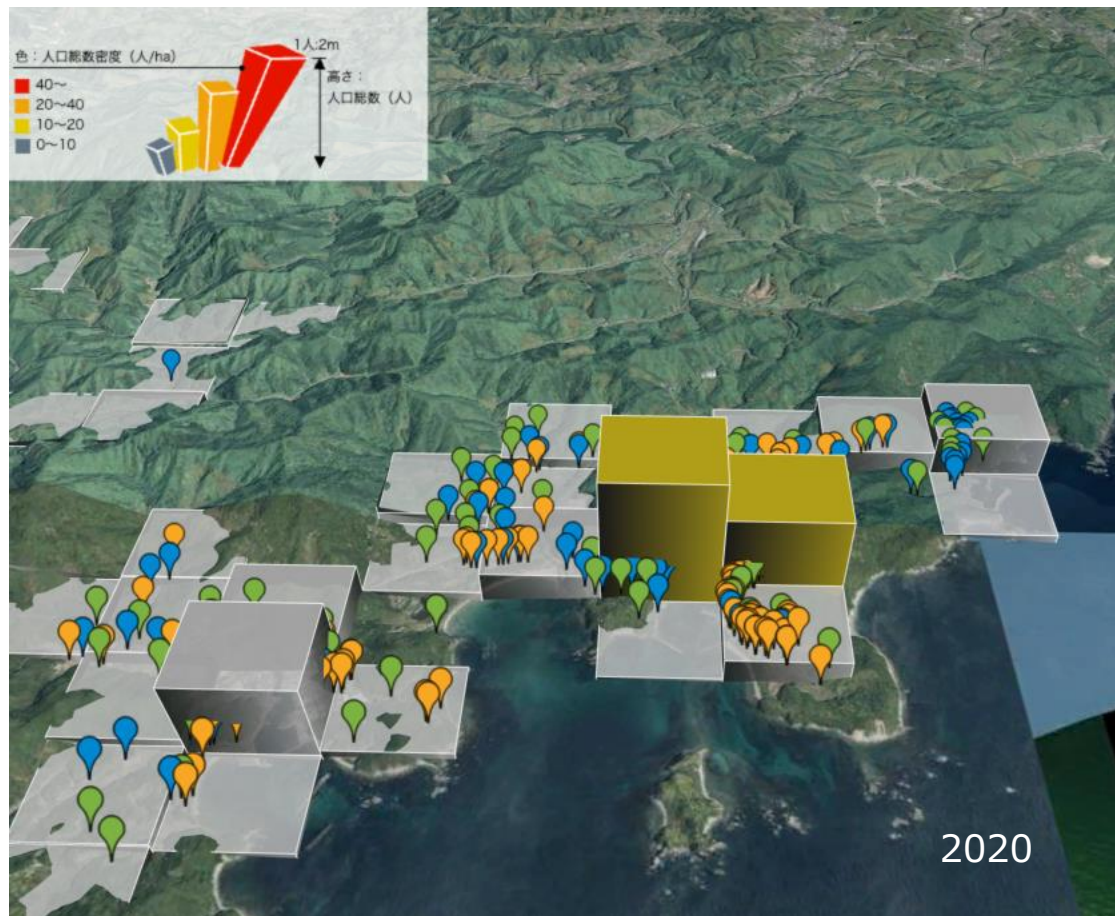
検討項目

- ・インフラ整備計画
- ・発災時の社会資本被害想定

例：人口が著しく減った地区においては、
下水道整備事業をスケールインする 等

3.防災・防犯情報と人口構造の位置関係を可視化

防災施設等の規模や位置の最適化を検討



主なレイヤ

- ・ 水利
- ・ 避難場所
- ・ 防犯灯

検討項目

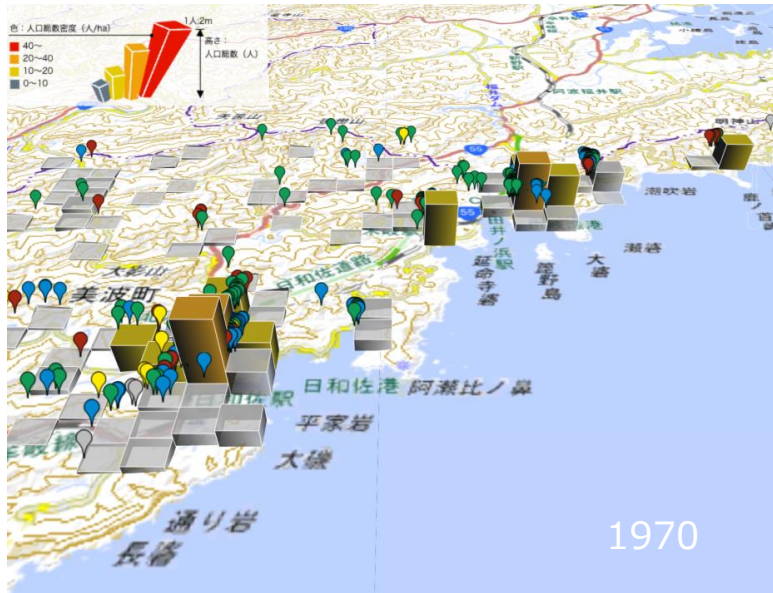
- ・ 避難場所の規模
- ・ 地区の水利数
- ・ 防犯灯の整備場所

例：

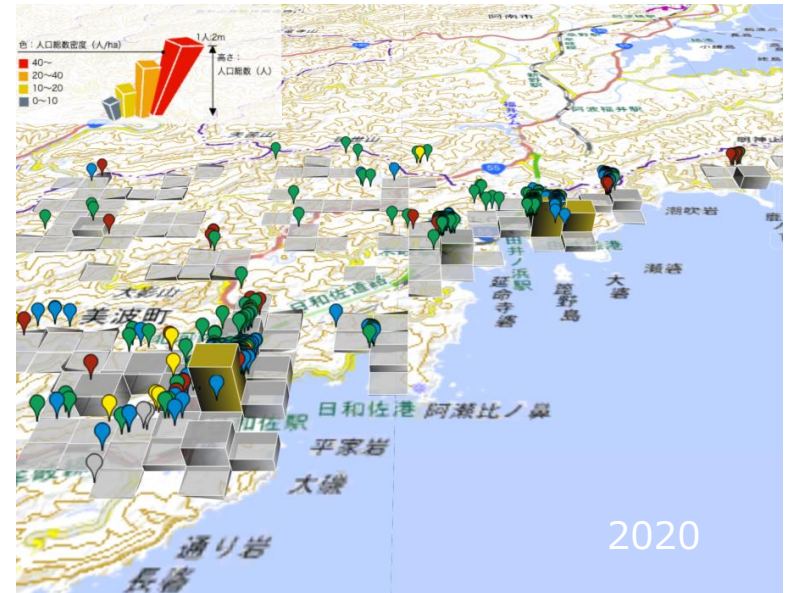
人口に応じて設備や施設
整備数を見直す

4.空き家情報と人口構造の位置関係を可視化

今後の空き家増加を予測



1970



2020

主なレイヤ

- ・ 空き家
- ・ まちづくりビジョン
- ・ 街並み調査データ

検討項目

- ・ 空き家予測 (空き家等対策計画)
- ・ 倒壊リスク分析と避難経路想定
- ・ マスタープラン

例: 地域特性に応じて空き家等対策計画を検討する 等

5.だれでも操作できるように

職員全体で活用する仕組みづくり



保有データと組み合わせることが可能だとわかったので、各担当職員に活用していただく仕組み化の検討を進める。

- ①美波町ホームページ上からGISデータ作成、可視化の仕組みづくり。
- ②今後、データ利活用について、職員に勉強会等を定期開催予定。

6.その他

次のデータ等を使用、または参考に作成

- ・ 美波町統計データ

<https://www.town.minami.lg.jp/docs/3091511.html>

- ・ 美波町オープンデータ

<https://www.town.minami.lg.jp/docs/820.html>

- ・ 美波町空き家等対策計画

<https://www.town.minami.lg.jp/docs/329.html>

- ・ 地理院地図都市構造可視化計画ウェブサイト

<https://v4.mieruka.city/>

- ・ 国土地理院地図・空中写真

<https://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/index.html>

補注：P2,3,4,5,6,8 都市構造可視化計画、地理院地図を使用

考察・まとめ

実際にデータをもとに最初から作成も実施出来た。そのうえで、横断的に各担当者が手軽にデータを活用できるようにするために、まずは活用アイデアが生まれやすい仕組み、活用しやすい仕組みを検討していく必要があると感じた。

また、今回、報告書内に詳しい資料はいれていないが、人口構造のほか、登記済みの境界の立体化等検証も実施した。もし高さをもった建物データを活用できれば、津波リスクの可視化において、避難場所や備蓄倉庫の最適箇所検討などに非常に有用であることが分かった。



四国霊場 2 3 番札所

薬王寺



人 口

5, 7 2 0 人

※令和6年11月30日現在

ウミガメの来るまち 美波町